

プール学院報

Poole
Gakuin
150
FOUNDED 1879th
愛と奉仕

第96号
2025年2月・3月
発行

学校法人 プール学院
〒544-0033
大阪市生野区勝山北1-19-31
TEL.06-6741-7005
FAX.06-6731-2431



2024年6月1日 創立145周年記念礼拝

永生女学校の時代、
中央がミス・オクスラド(1884年)

CONTENTS

理事長挨拶 1

[中学校・高等学校]

プール学院のキリスト教教育について 2・3

宗教部主催行事 3・4

2023年度

高3生の進路状況 5

クラブ等の成果 5

主な行事 6

ニュージーランド 6

3ヶ月研修 6

放送部の活動について 6

読書について 7

私のキャンパスライフ 8・9

卒業生チャペルメッセージ 9

PTA活動報告 10

中・高後援会活動報告 10

同窓会だより 11

法人だより 12

編集後記 12

ご挨拶

心の中に塩を持ちましょう。

理事長 磯 晴久 (日本聖公会大阪教区主教)



「自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。」

マルコによる福音書9:50C

いつもプール学院のことを憶えて、祈り、お支え下さることを、心より感謝申し上げます。

さて、上記のみ言葉を、私は若い頃「塩」という強い味のイメージで受け取り、「妥協しない、揺るがないあり方」を「塩」を通じて、主イエスは教えておられると受けとめていました。しかし、「塩の対比作用」ということを知り、この聖句の読み方が変わったのです。塩の「対比作用」というは、他の味の中に、塩を少量加えると、塩味は消えるが、そのもののもつ味がひときわ強く、よくわかるようになる作用のことです。たとえば、せんざいを作る時に、砂糖に少量の塩を加えると、せんざいは甘さを増し、大変おいしくなると聞きました。よく添えられる塩昆布もその役割でしょうか。

また、旨味に対しても、この「対比作用」というのは大きな効果があるそうで、出汁を

取った時に、少量の塩を加えて味をくと、味の善し悪しがたちどころに分かるとも聞きました。そうすると「塩」はそのままではなく、かくし味として使われた時に大きな力を発揮するというのは、大きな気づきでした。

「塩」は、かくし味として使われた時にこそ大きな力を発揮するのです。

「自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。」と主イエスは言われました。ここでの「塩」、それを自らの内に保ちなさいというのには、自己を強く主張するよりも、社会の中で溶け込んで、和解や平和を作り出していく働きを担うという風に考えることができます。それは、あたかも私たちがかくし味的な役割を担い、人々の間にあって、また社会の中で周囲の人々の良さを引き出していくとも考えることができます。かくし味的な生き方は、プール学院が大切にしている「愛と奉仕」の精神が、わたしたちに求めている姿、生き方ではないでしょうか。「塩」、それはプール学院では、「愛と奉仕」と言い換えることができるでしょう。

プール学院のキリスト教教育について

「愛と奉仕」の担い手として

中学校・高等学校 校長 安福 朗

私立学校には、「寄附行為」と呼ばれる最高法規があり、全ての私立学校は「寄附行為」に定められた建学の精神に基づいて教育を行っています。

プール学院の建学の精神は「寄附行為」の前文に次のように記されています。

「終始一貫、日本聖公会所属の教育施設として神の栄光のためにキリスト教の精神を根底とする教育を行ってきた。これは



将来においても永久に守られるべきものである」。

ここには、プール学院の教育研究の営みはすべて神の栄光のために行われることが明示されています。

建学の精神が示す価値観は、現実社会の支配的論理、風潮に与することなく、イエス・キリストの生涯に示されている「愛と奉仕」を模範として生き、「真理はあなたたちを自由にする」という聖書の言葉を根拠にして学ぶことを求めています。

そして、「愛と奉仕」の担い手として、神の栄光のために良きサーバントリーダーとなって人類と世界に貢献できる人を育てることこそが、プール学院の教育理念なのです。

プール学院のキリスト教教育

チャプレン 成岡 宏晃

創立から145年の歳月を経てもなお変わることなく校内に漂う香り、それを私たちは建学の精神という言葉で表しています。プール学院の建学の精神は「神の栄光のために キリスト教精神に基づいた人格形成の実践」です。世の中がどのような変化の途にあろうとも、この精神を色褪せることなく受け継ぐことが学院の使命(ミッション)であり、唯一の指針です。この精神を体現するために掲げられているスクールモットーが「愛と奉仕-caritas et ministerium-」です。「愛と奉仕」の精神は、他者を大切にし、他者とともに生きる道へと私たちを招き入れます。

他者を大切にすることは、神によって造られたあらゆる「違い」を持つすべてのいのちを尊重するということ、つまり「違いを大切にする」ということです。「違いを大切にする」ということは、昨今世の中で常套句のように用いられている「多様性の尊重」や「多文化共生」と関連していますが、プール学院は145年前から「違い」を持つ一人ひとりが互いを大切にしあう生き方を体現し続けているのです。たとえ、それが時代に抗っているとしても。

また、「奉仕」は「給仕」を意味する言葉に由来しています。つまり、食卓を整える人になるということです。インスタント食品や出来合いのお惣菜や料理店からのテイクアウト、デリバリーが充実している昨今では、家庭で一から食卓を整えるという機会は少ないという人が多いかもしれません。

私事で大変恐縮ですが、我が家には重度の食物アレルギー



(卵と胡麻)の人がいるため、出来合いのものを買ってくることはほとんどありません。外出先で美味しそうなスイーツを振る舞っていただくこともしばしばあるのですが、当人はいつも「お預け」です。親として大変申し訳ない気持ちになります。そうかといって、手作りでいつでも豪華な食卓を整えることができるほどの腕前というわけでもありません。それでも、自分なりに悩みながら考えながら料理を作つたり、お店に頼み込んで卵抜きのクリスマスケーキを注文したり、何とかして「いっしょに食卓を囲む」ための工夫をしてみると、豪華さや高級感はなくても、目には見えない温かさや安心感を分かち合えたような気持ちになるのです。

「愛と奉仕」のひとつの形は、「違い」を尊重することです。「違い」を尊重するためには「違う」ということを知ることから始まり、「違い」を分かち合うことで実現します。「違い」を分かち合うためには、「今まで見聞きしたことがない、経験したことがない」という不安や恐れを超えていかなければなりません。不安や恐れを超えていくために最も大切なことは誠実さです。

「違い」を実感し、また不安や恐れを実感した時にこそ、これまで以上に誠実な姿勢でその場に留まり、向き合う生き方こそが「愛と奉仕」の実践です。定まりのない混沌とした時代だからこそ、出来るだけ誤魔化さずに誠実に、神がこの世界にお与えになったさまざまな「違い」を持ついのちを大切にし、神がこの世界に問いかけておられるなどを謙遜に受け止め、「他者」とともに生きることがキリスト教教育の根幹であり、プール学院の使命(ミッション)であると信じています。「信じていこう 信じ続けていこう はるか導く 恵み受けて明日は輝く」(校歌「輝きの中で」より)

現代における聖書科教育の意義

「だから、聖書はおもしろい。」

宗教科主任 松原 恵美子

今年、創立145周年をむかえる本校で変わらないもの、それはキリスト教教育であると、言えるであろう。もちろん当時と現代とでは時代背景も全く違うし、何よりも女子のおかれた立場がまったく違う。時代にあわせて聖書の読み方も変わってきている中、145年前にオクストラド先生やトリスマ先生が聖書をどのように語っていたのか、とても興味深い。今よりもっと「愛」、「献身」ということについて語っていたのではないかと、想像する。当時の生徒が、その言葉を聞いて自分のものとしていたからこそ、濃尾地震の際、現地支援にトリスマ先生と一緒に行くことができたのではないかと思うのである。

さて、私は110周年だった1989年から35年も生徒たちに聖書の授業をしてきた。私は大学生のときにフェミニスト神学と出会い、それまでと聖書の読み方が変わっていき、もっと自由に考えていいのだと思うようになった。もちろん好き勝手に解釈してよいということではないが、私がずっと大切にしてきていることは、自分で聖書が読めることで

ある。そんなあたりまえな、と思われるが、私もいまだに謎の箇所がたくさんある。そんな謎の箇所は横に置いておき、有名な奇跡物語などを自分で読めることを目標としている。また、聖書の登場人物は圧倒的に男性が多いが、その中でひそりと書かれている女性を紹介したりする。そうすると、女性が置かれている状況がわかるし、今と比べてみることもできる。女性の物語は自分に近づけて考えることができる。なので、ついつい高学年では、ジェンダーに偏ってしまうところはある。

それにしても、現代は課題が多くすぎて、自分自身のアップデートも大変だ。しかし、生野のこと、広島、長崎のことから平和について、最近なら難民支援のこと、釜ヶ崎のことなど、毎年、授業で取り上げる社会的課題がある。だが、私の愛が足りないのか、なかなか伝わらないこともある。でも、諦めてはそこで終わってしまうので、あきらめずに取り上げる。「聖書の授業というより人権?」と生徒から言われることもある。それでもそれだけのことを知って卒業してほしいと思うし、聖書は様々な問題とつながっていることを大切に考えてほしい。

「だから、聖書はおもしろい。」とは、なかなか言ってもらえないが、自分で読むとは、そういうことだと思う。「へー、こんな話もあるんだ。」という箇所に出会って自分の人生を豊かにしてほしいと願う。聖書はプール学院が今まで、そしてこれからも大切にしているものなのだから。

宗教部主催行事

広島平和礼拝に参加して

11月15日(金)中学校の礼拝の話から

今年は高校生11名が広島平和礼拝に参加しました。その報告を中学校の礼拝でしたときの原稿を編集しました。

8月4日(日)夕方の新幹線で広島に向けて出発し、5日(月)早朝より活動をしました。

最初に広島平和公園内にある原爆資料館を見学しました。朝早くからだったので、とてもすいていてゆっくりと見学することができました。今の資料館は、被爆者の写真や遺品を中心に構成されているので、刺激が強く、みてしんどくなる人もいました。

10時過ぎに原爆ドームの前で広島女学院の署名活動委員会のみさんと待ち合わせをし、神戸の松陰、京都の平安女学院の生徒さんと一緒に約1時間、核廃絶の署名活動をしました。外国人観光客が多く、署名用紙の半分近くが英語で埋まりました。中には核兵器廃絶には賛成できないです、とサインを断る人もいました。意見はそれぞれ違うので、どうやって全員で賛成できる形を見つけていくのかが、今後の課題だと思いました。

午後からは広島復活教会に行き、「平和の種まき～平和の実現は一人ひとりから～」と題した被爆証言を月下美孝さんから聞きました。月下さんは2歳のときに爆心地より約4キロの所で被爆

されました。今は腹話術を用いて、被爆体験と平和について語り継いでいます。(この日の証言はYouTubeで公開されていますので、見ることができます)

6日は8時から広島復活教会での聖餐式に出席しました。8時15分、鐘の音にあわせて黙とうをしました。近くのカトリック平和聖堂の鐘の音などいろいろな音が聞こえ、広島にいる皆が心をあわせて平和の祈りをささげていることがよくわかりました。

今回の平和学習を経て8月6日に現地である広島に行くことはとても貴重な体験だと思いました。私が一番驚いたのは他校との交流の際、広島の学校の生徒さんの平和活動への真剣さがひしひしと伝わってきたことです。私も広島の生徒さんたちを見習ってより深く興味を持って学べたと感じました。

これは平和学習後の話ですが2024年のノーベル平和賞に日本原爆被害者団体協議会が選ばれました。私はこのニュースを見て、今回の平和学習の署名活動や原爆資料館にも海外の人がたくさんいたことを思い出しました。このことでさらに、海外の人たちが唯一の原爆被害国である日本への関心を持つて、より理解を深めてくれると世界はもっと良くなるのではないかと思いました。

(高校Ⅲ年A組 片井 杏里紗、木原 みのり、羽野 桜子
高校Ⅲ年D組 戸口田 亜弥、高校Ⅲ年F組 小松 愛莉
高校Ⅱ年E組 田嶋 愛)



宗教部主催行事

■タイSWK校交流スタディーツアー

私がタイSWK校交流スタディーツアーに参加しようと思った理由は、日本とは全く違う文化を身をもって感じたかったからです。タイに住んでいる方々はどのような生活を送っているのか、どんな言語を話しているのか、タイのことを身近で感じることができると考えました。また、逆に文化の違いなどで日本の素晴らしいところも見つけられるかもしれない。全く違う文化を知ることによって、考え方の違いなどを尊重できるようになると考えました。

タイで過ごした約6日間の体験をして、文化って凄い。と改めて実感させられました。私は小学生、中学生の頃から世界には沢山の文化があることを学んできました。でもやっぱり、実際身を持って体験してみると全く違うもので、毎日発見でいっぱいでした。まず、大きかったのは言語が違うこと。タイの方々が話している言葉は、私にはずっと同じ音にしか聞こえなくて、全く理解できませんでした。ホストファミリーの方と一緒にいた時は、英語で話しかけてくれるのですが、私は英語が大の苦手で、わからない場面が多くありました。ほんとに悔しかったです。今まで英語の必要性はわかっていたつもりでしたが、なぜか勉強にやる気が全くませんでした。ですが今回このような体験をして、他の世界に広ぐるために英語は必須なんだなと改めて実感し、勉強しようと思うことができました。ホストファミリーの家に滞在していた時は、不安一つなく過ごせるほど家族

全員が優しくて、日本ではできない様々な体験をしました。朝一の5時くらいに鶏が鳴っていて、ほんの少し、朝早くから一眠たいのに。と感じたり、とてつもなく広い田んぼに行って、田んぼの脇沿いで育てているwatermelon(スイカ)をドロドロになりながら栽培してみんなで食べたり。このような素敵な体験をさせてくれたホストファミリーの方々には感謝しかりません。日本でも、自然豊かな場所は沢山ありますが、タイの地は日本とは違って土地が広いので、



日本とはまた違う体験ができました。日本はタイより土地が狭く、一つ一つの建物や車がぎゅうぎゅうになっていますが、タイは土地が広いので人々がのんびりで自由に過ごせていたところから、土地や自然は人々の感情を作るんだなと感じました。私は、このSWKスタディーツアーを通じて、一つものすごく大切なことに気づきました。それは、世界は広い。ということです。私は今まで小さい時は飛行機に乗って海外に行っていたのですが、あまり記憶がなく、今回初日に飛行機に乗った時は日本があまりにも小さくてびっくりしました。世界はこんなに広かったんだと実感し、涙が出るほど感動しました。今回の私のように、身をその国に置かないわからないことが沢山ありました。それがあと、数百個あると考えたら、私は今までどれほど小さいところにいたのかと、何度も考えました。元々海外のことについて興味はあったのですが、今回もっと興味が湧きました。もし、またこのツアーに参加させていただくことができたら、SWK校のみなさんともっと仲良くなったり、今回のツアーで後悔したことを全力で挑戦してみようと思います。参加させていただくことができなかったとしても、タイという国は私の中で素晴らしい国ということを、今回のツアーで学んだので、必ず生涯あと1回は訪れたいです。最後に私はこの約6日間で沢山のことを学びました。このツアーに参加して本当に良かったと思います。約6日間の出来事、思ったことを大切にして、私はこれからもっと他の国に行って、自分の世界を広げたいです。

(高校I年D組 大橋 和佳)

■釜ヶ崎炊き出しレポート

1番印象的だったのは、三角公園に行くまでのゴミ山の道でした。今まで見たことのない光景だったので少し動搖しました。ですが三角公園に行くと、人は暖かくみなさん陽気でいろんな話をしてくださいました。途中でおじさんがココアの差し入れをくださいました。そう言った出来事もあり最初の釜ヶ崎の印象とギャップが生まれました。疑問に思ったことは、男性の比率がかなり多かったことです。女性は覚えてる限り4人くらいしか見てません。反省点はここ5分くらい考えているのですが、思いつきません。正直達成感が凄いです。活動する前と後で自分の中が変わったことは、日雇い労働者への見解です。旅路の里の方のお話で、この辺にいる人達がいないとあのハルカスも地下鉄も何もなかったんだよと言う話で気付きました。ただ日々仕事を探してフラフラしておじさんではない。私たちの生活に必要な建物や電車を一生懸命作ってくれた方。周囲の人々に伝えたいことは、私が見た西成はほんの一部かもしれないけど、彼らには彼らが生きていく世界があり、そこには私たちの生活では見

られない光景や考えられないこと(二畳の部屋に住む)があったが、人の温もりを感じられ一般の人が想像する街とは少し違うと思います。

(高校III年B組 北川 ことみ)



2023年度高III生の進路状況

進路指導部長 西村 香織

受験方式としては指定校推薦が4割、総合型選抜、公募推薦、一般選抜がそれぞれ2割と、年々、総合型選抜の存在感が増してきており、本校がかねてより力を入れてきた、中学の「卒業論文」、高校の「アカデミア」、「グローカルスタディ」といった探究学習を強みとして活かせる機会、活かす生徒が多くなってきている。

1期生が卒業学年となった国際コースでは、立教大学よりグローバル・リベラルアーツ・プログラム(GLAP)の指定校として全国初

の認定をいただき、推薦生徒を送り出すことができた。

学年全体では医療系学部への進学者が43名と、およそ2割を占めた(看護18名、薬学8名、医療技術9名、食物・栄養8名)。例年に比べ、臨床工学技士、臨床検査技師、作業療法士など、夜勤が少なく女性が働きやすいとされる分野に注目が集まつたようである。

国公立大学、私立大学に限らず、全国的には早めに受験を終えてしまう傾向が強い中、本校では例年、「受験は3月まで」と一般選抜の後期試験まで挑戦しつづけようと呼びかけている。今年度も、後期試験で第一志望校の合格を勝ち取った生徒は多く、本校の特徴の一つとなっている。

2024年度入試 合格実績 卒業生数:197名

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
国公立大学計	8	私立大学(近畿圏)計	352	大阪経済大学	6	千里金蘭大学	2	短期大学計	14
北海道大学	1	関西学院大学	9	大阪芸術大学	2	関西医療大学	3	龍谷大学短期大学部	2
大阪大学	1	関西大学	8	大阪歯科大学	2	森ノ宮医療大学	6	大阪音楽大学短期大学部	1
大阪教育大学	3	同志社大学	5	大阪商業大学	1	大谷大学	1	大阪女学院短期大学	1
奈良県立医科大学	1	立命館大学	2	大阪樟蔭女子大学	3	京都外国语大学	5	関西外国语大学短期大学部	3
奈良県立大学	1	京都産業大学	5	大阪体育大学	1	京都精華大学	1	奈良芸術短期大学	1
鳥取大学	1	近畿大学	39	大阪電気通信大学	5	京都橘大学	2	大和大学白鳳短期大学	6
私立大学(近畿圏外)計	20	甲南大学	9	大阪大谷大学	4	京都光華女子大学	1	専門・各種学校計	10
早稲田大学	1	龍谷大学	3	大阪成蹊大学	5	佛教大学	6	大阪行岡医療専門学校	2
国際基督教大学	1	同志社女子大学	20	大阪信愛学院大学	2	甲南女子大学	12	大阪医療技術専門学校	1
明治大学	2	京都女子大学	12	大手前大学	2	神戸女子大学	1	大阪医專	1
立教大学	8	武庫川女子大学	22	関西医科大学	2	神戸薬科大学	2	大阪保健福祉専門学校	1
青山学院大学	1	神戸女学院大学	17	関西外国语大学	9	神戸親和大学	1	大阪病院協会看護専門学校	2
明治学院大学	2	摂南大学	22	四天王寺大学	5	園田学園女子大学	1	大阪国際工科専門職大学	1
東京女子大学	1	神戸学院大学	7	相愛大学	1	神戸常盤大学	2	OSK日本歌劇団研修所	1
フェリス女学院大学	1	追手門学院大学	8	帝塚山学院大学	6	帝塚山大学	7	ヴェールルージュ美容専門学校	1
日本女子大学	1	桃山学院大学	12	梅花女子大学	3	奈良学園大学	2		
立命館アジア太平洋大学	2	大阪医科薬科大学	1	桃山学院教育大学	6	畿央大学	8		
		大阪音楽大学	3	太成学院大学	1	大和大学	19		

※人数は現役・既卒の合計を示す

クラブ等の成果

〈団体の部〉

高校ソフトボール部

- 第34回近畿私立高校女子ソフトボール選抜大会8/23 **2部優勝**

中学放送部

- NHK杯全国中学校放送コンテスト 大阪大会7/14 **テレビ番組部門優秀賞**

中高吹奏楽部

- 大阪府吹奏楽コンクール中地区大会7/28 **金賞 中地区代表**

- 大阪府吹奏楽コンクール大阪府大会8/10 **銀賞**

高校ダンス部

- 全日本高校大学ダンスフェスティバル 8/7・8 **入選・準入賞**

高校卓球部

- 第71回大阪私立高校総合体育大会9/15 **第5位**

中学ダンス部

- 大阪市中学校秋季総合体育大会9/29 **優良賞**

高校体操部

- 大阪高校新人大会体操競技の部10/27 **2部女子団体総合 第3位**

高校放送部

- 第45回大阪府高校芸術文化祭(放送文化部門) 11/3 **テレビ番組部門奨励賞**

〈個人の部〉

高校陸上競技部

- 第79回大阪高校総合体育大会陸上競技の部 地区予選会7/21

女子800m第5位 西川 冬悠(IIA)

- 大阪高校第3・4地区夏季陸上競技大会7/31

女子800m第4位 西川 冬悠(IIA)

- 第71回大阪私立高校総合体育大会8/19

高校女子800m第5位 西川 冬悠(IIA)

- 大阪高校第3・4地区秋季陸上競技大会10/27

女子800m第4位 西川 冬悠(IIA)

中学美術部

- 第55回私学写生大会5/26

奨励賞 吳服 実咲(3C) 後中 衣織(3C)

- 第73回大阪私学美術展覧会8/25

優秀賞 吳服 実咲(3C) 森田 紗彩(1B)

奨励賞 德原 のぞみ(3B) 藤川 みなみ(1A)

中学放送部

- NHK杯全国中学校放送コンテスト大阪大会7/14

アナウンス部門優良賞 津々 葉璃(3B)

高校放送部

- 第71回NHK杯全国高校放送コンテスト

大阪大会7/25

アナウンス部門入選 奥田 梶永(IA)

全国大会出場

- 第45回大阪府高校芸術文化祭(放送文化部門)

11/3 **アナウンス部門優秀賞 奥田 梶永(IA)**

中学卓球部

- 大阪私立中学校総体卓球大会

女子シングルスの部8/9

準優勝 長谷川 優佳(2B)

- 大阪市第4ブロック卓球大会サマーカップ

女子シングルスの部8/16

準優勝 長谷川 優佳(2B)

高校卓球部

- IH協賛大会③8/17

女子ダブルスの部 第1位

岡村 夏鈴(IIB)・黒松 羽夏(IIB)

女子ダブルスの部 第2位

尾上 真菜(IIB)・柴田 初音(IIF)

- IH協賛大会④8/25

1位トーナメント第2位 黒松 羽夏(IIB)

高校美術部・総合芸術コース

- 第73回大阪私学美術展覧会8/25

優秀賞 水本 有美(III F) 南 舞音(II C)

鳥原 碧華(1B)

高校体操部

- 2部・3部大会8/8

段違い平行棒第1位 平均台第3位

ゆか第3位 個人総合第2位 天満 寛乃(II F)

- 第79回大阪私立高校総合体育大会9/15

2部女子個人総合優勝

種目別段違い平行棒優勝 ゆか優勝

平均台第3位 天満 寛乃(II F)

- 大阪高校新人大会体操競技の部10/27

2部女子個人総合優勝

種目別段違い平行棒優勝 平均台優勝

ゆか優勝 跳馬第2位 天満 寛乃(II F)

主な行事

4月

- 入学式
- 始業の日
- イースター礼拝
- カナダ1年留学出発
- ニュージーランド3か月留学出発
- 避難訓練
- 授業参観
- 校外学習(遠足)
- 教会礼拝

5月

- 中学オープンスクール
- 中間考査
- 両親感謝礼拝

6月

- 創立記念礼拝
- 創立記念日
- 中学説明会

- 体育祭
高校説明会
期末考査

7月

- 人権ホームルーム
- 高校修学旅行(シンガポール・マレーシア)
- 中学キャリア学習
- 鑑賞の日(ペルサイユのばら)
- S・一貫特別補講
- 終業の日
- 面談日
- イギリス夏期語学研修出発
- タイボランティアツアー出発

8月

- 同窓生対象入試説明会
- S・一貫プールサマーチャレンジ
- 高校オープンスクール
- 韓国崇徳女子校短期留学出発
- 始業の日

9月

- 実力考査
- 高校説明会
- 文化祭
- 中学オープンスクール

10月

- 中間考査
- 中3 British Hills英語合宿
- 中学入試プレテスト1
- 校外学習(遠足)
- 避難訓練
- 韓国崇徳女子校5日間訪問
- ニュージーランド
- キャリア別研修出発

11月

- 高校オープンスクール
- 中学合唱コンクール
- 中学入試説明会
- 宗教講話

- 中学入試プレテスト2
同窓生チャペル
クリスマスソリ一点灯式
収穫感謝礼拝
大阪府下英語暗誦大会
高校入試説明会
期末考査

- 中学入試
韓国崇徳女子校
短期留学来校
高校合唱コンクール
フィリピン研修出発
(国際コース)

2月

- 高校入試
- 高校卒業礼拝
- 高校卒業式
- 韓国崇徳女子校5日間来校
- 学年末考査

3月

- 中2・スキー合宿
- S・一貫特別補講
- 中学卒業礼拝
- 中学卒業式
- 終業の日
- 中学オープンスクール

ニュージーランド3ヶ月研修

私は2023年の4月22日から7月2日の約3ヶ月間、ニュージーランドに留学しました。

最初の4週間は語学学校で勉強をしたのですが、そこにはさまざまな国籍の生徒たちがいました。私たちのクラスにはタイ、韓国、ブラジルなどからの留学生がいて、その人たちとも徐々に仲良くなれて休み時間に話したり、休日には遊びに行ったりご飯を食べたりしてすごく仲が深まりました。卒業する頃には皆と離れるのがとても寂しかったです。さまざまな国の友達がたくさんできて、良い経験になりました。

残りの6週間は現地校で過ごしました。語学学校とは違い、地元の高校に通うことになるので緊張しました。現地校では制服も着用し、その学校の生徒と同じ授業を受けるので現地の生徒になった気分でした。やはり先生は話すのが速いので、授業内容を理解するのに苦戦しましたが、先生や現地の生徒が助けてくれることもあり、この現地校生活も楽しく良い経験になったと思います。

私のホストファミリーで出していたご飯はとても美味しく、パーティーや遊園地にも連れて行ってくれて、楽しく濃い日々を過ごすことができました。

この留学で得たことを、これから的生活に活かしていきたいと思います。



放送部の活動について

放送部では聞き手に『伝える』ことを柱として、アナウンスや朗読の練習はもちろん、近年では番組制作なども行っています。毎年夏に行われるNHK全国杯放送コンテストを目標として日々精進しています。



アナウンスでは、取材相手の思いを多くの方に伝えるために、言葉で表現する技術やアナウンス技術を磨いています。朗読では作品のテーマや、その世界観、作者の心を聞き手に伝えます。アナウンスと朗読の両方で、微細なニュアンスの言葉選びや発音まで考えながら、どのように読み上げたら相手に伝わるのかを日々考えながら取り組んでいます。また、番組ではどのような画の写し方や字幕が効果的で、視聴者にとって見やすい、わかりやすいのかということを意識しながら制作しています。

校内の活動としてはお昼休みには応募のあった音楽を校内で放送したり、制作した番組を朝の礼拝の時間に放送したりする取り組みも行っています。

また、大阪で行われる技術講座や合同練習会等の学校外活動も積極的に参加しています。これらの練習会を通して他校放送部の生徒と交流をしたり、お互いの原稿をチェックしたりすることで放送コンテストに向けて気持ちも技術も高めています。

アナウンスや朗読、番組、それぞれでできる形で取材相手や作家と聞き手をつなぐ。校外の活動を通じても他校生徒や先生とつながる。つながりの輪を広げていくことが、放送部の活動です。

読書について

朝読書の挑戦

国語科主任 長光 明子

中学校では週に2回(一貫特進コースは1回)、朝読書の時間を設けています。わずか10分の読書時間ですが、「塵も積もれば山となる」を実感する時間となっています。

1日の大半を学校で過ごす生徒たちにとって、本の中にこそ外に開かれた多くの知識や見聞があると考えています。小説で人の心理を知り、「なるにはシリーズ」で看護師や弁護士などの職業を知り、ホラーで異次元の空間に「移動」し、など、居ながらにして世界中に旅することも、時空を超えて過去や未来へ行くこともできます。

LRCでは校長先生の発案で、「好奇心の杜」という初学者のための本がシリーズごとに並び、ゆったりと読むことのできるスペースがあります。中学生のみならず、「さくっと読める」ということで、高校生にも人気です。

一方で、「読みたい本がない」という生徒の声も聞こえます。

そこで、国語科では進路指導部とタイアップして、中学学級文庫を作ろうと企画しました。

まずは、選書です。立候補してくれた中3生1名、中2生10名と、ジュンク堂書店へ行きました。2時間の制限時間でカゴを持ち、それぞれが売り場で選びます。(まずは、自分の読みたい本からというのは人情ですね)選書が終わった生徒は集合場所へ来て、自主

的に学年別に本を整理してくれました。こうして、選んだ本は総数が157冊!よく集めました。中学生だから読みたい本、というのが大人の選ぶ「名作」とは趣が違っていて、大変おもしろかったです。

3学期には、中学校の各クラスに学級図書がセットされます。楽しみに待っていてください。

最後になりましたが、今回の企画にご賛同いただき、PTAバザーの売上金を託してくださいました、PTA会長はじめ全ての会員の皆様に深く感謝申し上げます。

中学生の間の読書量は高校生の学力、受験時の総合力に直結します。中学校の読書活性化をこれからも勧めてまいります。ありがとうございました。



朝読書と読書

進路指導部長 西村 香織

朝読書は、朝の礼拝の後、中学生が行っている取り組みです。学年・コースにより回数は異なりますが、毎週火曜日と木曜日、土曜日の短い礼拝の後、朝読書または朝テストの時間を設けています。

歴史を遡ってみると、今から15年前の2009年度から開始された取り組みであることが分かりました。当時、LRCの貸し出し冊数が落ち込んでおり、生徒たちにもっと本を読んで学んで欲しいとの思いから始まったということのようです。

当初は中学生・高校生ともに週2回、朝読書の時間がありました。2008年度の中学生入学生からは卒業論文の提出が卒業要件となり、「総合」(探究型学習)でのLRCの利用が多くなったことで、貸し出しの冊数も増えてきました。その後、コースの再編等に伴って再考され、高校は朝テスト、中学は学年・コースによって回数に幅のある朝読書・朝テストという現在の形に落ち着いています。朝読書の時間はないものの、高校生の「アカデミア」(探究型学習)の授業もLRCで行っており、読書の機会は以前より増えていると考えられます。

中学生には『読書記録ノート』を配付し、読んだ本の感想や心に残った部分を書き留められるようにしています。中3の3学期には3年間で100冊以上読んだ生徒を中学生全員の前で表彰していますが、200冊を超える生徒がいることもあります。興味のある分野にのめり込んだり、ふと手に取った本から視野が広がったりと、読書により自分の世界に深まりや広がりを感じたことのある方は多いのではないでしょうか。生徒たちにも是非こうした感動を味わって欲しいと願っています。



私のキャンパスライフ

新しいことに挑戦したい!

国際基督教大学 教養学部 アーツサイエンス学科 増田 芙花

4月に入学を迎えてくれた満開の桜は綺麗な紅葉となり、秋の訪れが感じられる自然豊かな国際基督教大学(ICU)で、私は充実した日々を送っています。

一年生の私が一番大変だと感じているのはやはり「英語」です。ICUでは英語力向上のために、一年生の時に「ELA」という授業をとります。この授業では、英語でディスカッションをしたり、10ページ以上にわたる長文の英語を読んで分析したり、1000字のエッセイを書いたりします。読解やエッセイの課題をこなすことはかなり大変ですが、この英語で溢れた授業を、様々なバックグラウンドをもった友達と一緒に受けることで、毎日多くの刺激をもらっています。

夏休みには留学プログラムに参加し、6週間ニュージーランドへ行きました。そこでは、英語力を伸ばすことはもちろん、様々な国から来た新しい友達をつくることができ、大変良い経験になりました。また、プール学院に在学していた際は習い事のためできなかった部活動にも励んでいます。「新しいことに挑戦したい」という気持ちから、チアリーディング部に所属しています。習い事としてやっていたバレエとは違い、筋肉が必要なスポーツであるため、日々練習に一生懸命取

り組んでいます。6月には初めて大会に出場し、他チームの演技に圧倒されたことを覚えています。

また、10月には学祭があり、二日間公演を行いました。そこでは「演技を見せることが楽しさ」を実感し、大変思い出に残るものになりました。12月に2度目の大会が控えているため、現在はその大会に向けてチームメイトと共に頑張っています。クリスマスの時期になると、プール学院のクリスマスツリーや礼拝を思い出し、戻りたくなります。特に高校生活は思い出が多く、日々写真を見返したり、友人と電話をしたりしています。

ようやく慣れてきた一人暮らしもまだ大変ですが、これからも周りの友達や両親に感謝しながら、楽しい大学生活を送りたいです。



「プール・相馬」から スクールカウンセラーに

神戸松蔭女子学院大学大学院 文学研究科 心理学専攻 森 希望

現在、私は大学院にて、グリーフケアやトラウマなどの分野を中心に行学びを深めています。授業や実習と忙しい毎日ではありますが、やりがいがあり充実した時間を過ごしています。また、校内に併設されている心理相談室では地域の方の相談を受け、カウンセラーとして大切なことを、日々体感的で学ばせていただいている。

現在執筆中である修士論文では、「災害後の被災地における心理的支援」をテーマに、「被災地で心理職にどのような支援ができるのか、支援者自身のメンタルヘルスを保つためには何が大切か」という視点から、研究に取り組んでいます。このテーマに関心を抱くきっかけとなったのは、在校中に所属していた「プール・相馬つながるプロジェクト」での経験からでした。高校2年生の頃、活動の一環で、東日本大震災の被災地である福島県相馬市を訪問する機会をいただきました。そこで「NPO法人 相馬フォローアーチーム」の皆様から、発災直後から続く心理的支援の取り組みについて伺い、「心のケア」の重要性を強く実感したことが、私の原点となっています。今夏には再び相馬市を訪問し、東日本大震災での心理的支援に関する

お話を伺いました。支援者の方々は、震災による混乱の中で自分にできることに精一杯取り組み、多くの被災者に寄り添いながら支援に携わられたといいます。お話を伺い、被災地での心理的支援がいかに難しいものであるかを実感したとともに、心理的支援は一時的なものではなく、長期的に続していくものであることを学びました。自然災害の多い日本において、今後さらに重要なであろう「災害後の心理的支援」の示唆を得られるよう、引き続き研究に励んでまいります。

大学院を卒業後は、臨床心理士資格の取得を目指し、将来的にはスクールカウンセラーとして活動することを目標としています。そして、自然災害が発生した際には、心理職として被災者の方々の支えになれるよう、今後も学び続けていきたいと思っています。この度はこのような機会をいただき、ありがとうございました。



人生は、ちょっとした選択から…

大阪大学 外国語学部 外国語学科 タイ語専攻 益池 彩乃

大阪大学外国語学部外国語学科タイ語専攻に進学した益池と申します。現在3年生で、タイに留学中です。友達と遊びに行って帰ってきたらチャップレンから連絡が来ていて、有難いことに卒業生欄を書かせていただく運びとなりました。

プール学院を卒業してから、日本では授業にアルバイトにサークルにいろいろなことに手を伸ばしてあくせく毎日を過ごしていました。言語系の授業では、中学高校で習ったように言語をひとつずつ身につけていきます。論文を読む必要があるのでスピードは中学や高校より早いですが、少しづつ文が読めるようになると嬉しいです。3年目からは文化の授業も入ってくるので、タイについての知識も増え楽しくなってきます。

留学生活では、4技能の授業を受けたり、ハンドクラフトの授業で昔からあるお守りやお祭りの飾りを作ったりしています。休みの日はなるべく出かけようと決めていたので、1日空いていれば近くの県まで1人でミニバスや電車に乗ってはお寺や遺跡、市場を巡っています。留学先で新しく出来た友達と遊びに行ったり、以前大阪大学に

留学に来ていた友達と遊びに行くことが多いです。タイ人同士だと早く喋るのでなかなか聞き取れないのですが、私と話す時はゆっくり話してくれるでなんとか会話についていくことができます。

それもこれも5年前にプール学院で、タイに10日程行ったあの研修がはじまりです。人生ってちょっとした選択で何年間が変わるんだから不思議なものです。本当に偶然なのですが、その時の研修の友達が同じ大学に進学していて、教会に連れて行ってもらいました!ホームステイを受け入れた子のご家族とも再会して、アイスクリームを食べに連れて行ってもらいました。運命ですね。

これを書いている今は留学中の授業最終日で、これから同じ授業を取っていた日本人とフランス人でカフェに行く予定です。

大きなことを成し遂げた訳でもないのんびりした大学生ですが、私はこの選択も悪くないと思っています。進学を考えている皆様に、少しでも参考になれば幸いです。



卒業生チャペルメッセージ

プール学院に連なる喜び

奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科
西村 結



ヨハネによる福音書第15章4,5節

「私に繋がっていなさい。私はぶどうの木、あなた方はその枝である。」

みなさん、おはようございます。プール学院卒業生の西村結と申します。私は3年前にプール学院を卒業しました。卒業してからもこうして母校に関わることができて嬉しく思います。今日は「プール学院に連なる喜び」というテーマでお話しさせていただきます。よろしくお願いします。

みなさんがこの学校を選んだ理由はなんでしょうか。家から近かったから、校舎が綺麗だったから、制服が可愛かったから、あるいは親に勧められたから、色々な理由があると思います。私が選んだ理由は、プール学院が女子校で、キリスト教だったからです。この二つはどうやら、卒業した今でも私の軸となっています。

中学校に入学したばかりの頃は、戸惑うこともありました。初めて会うタイプの同級生とうまいかなかつたこと、合唱コンクールの練習で熱量の違う友達と毎年喧嘩していたこともあります。しかし、家族よりも長い時間過ごし、みんなで協力し合い、時には本音で話し合いながら成長してきました。同級生とは今でも仲良くしています。さらには、生徒と先生の距離が近く、勉強だけでなく友人関係や進路の話も親身になって聞いていただきました。私は、プール学院が女子校だからこそ、このような雰囲気が保たれているのだと感じます。例えば、

聖歌を歌いながら廊下を歩くことは、大学に入ると誰もいません。このように三学年全員が集まって礼拝をすることもありません。この貴重な環境で自分を大切にしてほしいと、心から思います。

女子校だったことと同時に、プール学院がキリスト教だったことも私に大きな影響を与えました。私が中学一年生の頃の年間聖句を紹介します。

ヨハネによる福音書第15章4,5節「私に繋がっていなさい。私はぶどうの木、あなた方はその枝である。」

聖書のなかでも有名な箇所ですが、みなさんはこの言葉の意味がわかるでしょうか?ぶどうの木ってどういうこと?なんで私たちが枝なの?私が中学生の頃は正直、ピンと来ませんでした。でも今は、私なりの解釈で、この言葉を理解できるようになりました。

最近、私は10歳年上の女性と友達になりました。その人とは、学校とは全く関係のない場所で偶然知り合いました。雰囲気が柔らかく、自然と話が弾みました。話していくうちに、なんとその人もプール学院の卒業生だったことがわかりました。驚いたのと同時に、先ほどの聖書の言葉が頭に浮かびました。

「私はぶどうの木、あなた方はその枝である」

プール学院というぶどうの木に連なる卒業生同士だから巡り会えたのだと感じました。私が今ここでみなさんにお話してできていることも、この学校に連なる「枝」として、機会を与えられたからだと感じています。この学校で学んだことは、決して卒業とともに終わることではなく、これから先の皆さん的人生の支えとなることでしょう。

最後に、みなさんの学校生活が豊かなものになりますように、また、一人ひとりが自分らしい人生を歩めますように、卒業生としてお祈りしております。

PTA活動のご報告

PTA会長 小出 厚子

いつもお支えくださりありがとうございます。今年度の活動は主に、PTAクラブについてご報告いたします。

10月5日6日、2日間にわたり開催された大阪私学芸術文化祭典において、PTAコーラス部が保護者合唱部門で出演しました。NHK大阪ホールの大きな舞台で2曲も披露できたことは貴重で幸せな経験となりました。

10月27日、秋晴れのなか行われた私学保護連スポーツ大会には、今年もPTAソフトボール部・PTAバレーボール部の両チームが出席してくださいました。強豪校との対戦に苦戦しながらも、真剣プレイでボールを追いかけるお姿は輝いていて、とても素敵でした。

ご息女の卒業後もなおPTAクラブの活動にご尽力くださるOG保護者部員のみなさま、現役保護者部員のみなさま、プール学院中高の看板を背負ってご活躍ください本当にありがとうございます。

多くのみなさまに保護者間交流の一助として長く活動いただけますよう、新規入部も随時募集しております。

11月18日にはPTA研修委員会の企画手配にて、5年ぶりとなるバスツアーに出掛けることができました。三田ガラス工芸でのサンドプラスト体験と三田屋本店でのステーキランチなど、美味しいもの巡りの旅には校長先生と成岡チャプレンにもご参加いただき学年を越えての交流を楽しみました。

芸術、スポーツ、味覚、今年度の秋はPTAにとりましても、実りのある時間を共有できましたことを心より感謝申しあげます。



中・高後援会活動のご報告

後援会会長 奥井 浩子

後援会は、皆様のお支えにより早いもので発足より17年になります。

ご理解とご協力に感謝申し上げます。毎年、成人の日に行われていた「成人祝福礼拝」は、成人年齢の改定に伴い、名称を新たに「はたちの感謝礼拝」として満20歳になる正会員のお嬢様そしてご家族と共に、清心館にて礼拝を行いました。新型コロナウイルスの感染も落ち着き以前と同じように、華やかで厳かな礼拝となりました。美しく成長されたお嬢様方を学校、そして一般社団法人「POOLE」(同窓会)の皆様とお迎えできるのは大きな喜びと次の活動へのエネルギーとなっています。

また、今年の文化祭では、毎年好評の手作りバザーに加えて「駄菓子千本引き」コーナーを新しく設けたところ、体験入学生徒とそのご家族、現役生徒さん、教職員の方にも大好評。わずか2本しかない大当たりを引いた時の歓声!大変盛り上がりました。次年度もバージョンアップで皆様をお迎えできればと今からワクワクしています。後援会主催のクリスマス礼拝は、プール学院で一番早くクリスマスをお祝いします。礼拝後のイベントにはプロとして活動しておられる卒業生や芸術コースの生徒さんによる発表などをしております。

一度、会員をやめられた方も後援会の趣旨にご賛同くださる方は、賛助会員としてご参加いただけます。「文化祭やクリスマス礼拝のご案内が欲しい」という声をお聞きします。会員の皆様にはお知らせのお手紙を送付しております。是非、この機会に賛助会員としてご入会くださいますよう、お願い申し上げます。





ご報告

一般社団法人POOLE
理事長 大塚 陽子 (高76回・今江)



2024年5月の同窓会総会で承認されました。行事も、皆様のご協力のもと無事進めて参ることができ感謝いたします。

本部では、ブラジル聖公会玉置執事の海外伝道のお話を伺い、長年のご尽力にエールを送らせていただきました。また9月の賀寿祝福礼拝では、大勢の方がチャプレンから祝福を受けました。とくに今年は、磯理事長、安福校長、桜井プール幼稚園理事長、内海オクスラド基金委員長の4名の方が記念の年をお迎えとなり、同窓生と一緒に祝福をうけられました。各支部においては、関東支部、九州支部、北米支部の方々が、学院のスクールモットーである“愛と奉仕”的一旦を担い活動されることも、本部の喜びとしております。どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。

ミヅパ会報告

プール学院ミヅパ会(短期大学・大学同窓会)

ミヅパ会会长 五十嵐よし子
(高84回・短英26期・佐藤)



皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。いつも神様に見守られ歩めることに感謝しております。さて、2024年10月27日にプール学院ミヅパ会(短期大学・大学同窓会)総会を開催し、大きな決議がなされました。

母校閉学以降ミヅパ会単独での活動は諸方面におき制限が生じ、これ以上ミヅパ会(短期大学・大学同窓会)として存続することは難しく「解散」することが全員一致で決議されました。

今後は、中学から大学院までの卒業生が同じプール学院同窓生として、益々絆を強めて参りますよう願っております。

今までミヅパ会に格別のご厚誼を賜りまして心より感謝申し上げます。

文化祭バザー

2024年9月21日(土)文化祭バザーに同窓会から出店させていただきました。これらの品々は、卒業生から寄せられたもので、手作りのアクセサリー、バッグ、エプロン、デコパージュ額やその他寄贈品です。ご父兄やこれから受験される未来のプール学院生が手に取ってください、ご購入いただきました。そして売上金の全額をオクスラド基金に寄付いたしました。

ご協力をありがとうございました。



行事予告 同窓生の集い 2025年5月17日(土)13時~

2024年度一般社団法人POOLE 定時社員総会・同窓生の集い



2024年5月18日(土)一般社団法人POOLEの「定時社員総会」が11時よりプール学院のラウンジに於いて行われました。定款に基づき第1号～第5号議案が承認・可決されました。

午後1時からは清心館にて「同窓生の集い」が開催され、玉置幸子執事(高78回・短英20期・柏木)をお迎えしてお話をいただきました。続いて『同窓会コーラスPOOLE』の皆様、正富ふさよ先生の歌声を披露していただきました。

その後同窓会館にてバザー・喫茶コーナーが開催されました。



2024年度 クラス代表者会報告

常任学年代表委員会 委員長 桑平 麻由子(高86回・桑村)

2024年10月19日(土)13:00より、2024年度一般社団法人POOLE クラス代表者会を開催し、同窓会理事監事含め、計71名の社員、クラス代表者の方にご参集いただきました。



会の前半には「2024年度の同窓会活動」について常任理事浦垣敏子(高76回)よりお話しいただいた後、安福朗プール学院校長から、生徒のみなさんの活動についてご報告いただきました。

続いて、広報委員長 岡田由美(高87回)、企画委員長 木村和代(高81回)、社会ボランティアの会代表 奥野幸子(高92回)、ミヅパ会会长五十嵐よし子(高84回・短英26期)、常任学年代表委員長 桑平麻由子(高86回)より、各委員会の活動報告を行いました。

後半には、学院関係者の皆様のご協力で校内ツアーを4組に分けて実施。先生方にご案内いただき、最新設備が整った教室や建て替え前の校舎から受け継がれている懐かしい備品などを楽しく見学しました。



同窓会 クリスマス礼拝

街ではクリスマスソングが流れる中、2024年12月21日(土)に川口基督教会において恒例となつた同窓会クリスマス礼拝が行われました。点鐘とともにオルガンの音が響き、礼拝堂の中は静寂な雰囲気に包まれました。イエス様の誕生を祝うお話を聴き、大橋ジュンさんによる清らかな歌声に続き、同窓会コーラスの歌声も聴かれ、素晴らしい礼拝となりました。また今年のクリスマス礼拝で再会いたしましょう。



プール学院短期大学について

卒業生の方に向けた
ホームページを公開しています。



1. 短期大学に関する窓口

学校法人プール学院 事務局 短期大学係

大阪市生野区勝山北 1-19-31
TEL : 06-6741-7005 FAX : 06-6731-2431
E-mail : tandai@poole.ed.jp
受付時間：月～金 10:00～16:00
(祝日および学校休業日は除きます。ご来校の際は、事前にご確認ください。)

2. 証明書発行

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

3. 短期大学記念室

短期大学に関する資料、出版物、記念品等を展示しています。



場 所：プール学院中学校・高等学校 清心館礼拝堂のとなり

対 象：卒業生、旧教職員、学院関係者

開室日時：原則として月～金 10:00～16:00

(日曜・祝日及び学校休業日を除きます。土曜日については応相談。また、平日でも学校行事等によりご利用いただけない場合があります。)

*事前申込制です。詳細につきましては、ホームページをご確認ください。

4. ご相談やお問い合わせ等

短期大学に関するご相談、ご質問等がございましたら、プール学院 事務局 短期大学係までお問い合わせください。

プール学院大学・大学院の 証明書について

2025年4月に桃山学院大学と桃山学院教育大学が統合します。これに伴い、プール学院大学の卒業生、大学院の修了生の方の証明書の発行は2025年4月より桃山学院大学で行われます。詳細につきましては、桃山学院大学・教務課へお問い合わせください。

学院人事

■ 学校法人役員・ 評議員

〈就任〉 -2024.4.1付
評議員 芦田 道生
-2024.5.1付
評議員 生田 耕三

〈重任〉 -2024.4.1付
評議員 松原 恵美子
評議員 田中 幸一
評議員 大坪 栄子
評議員 太田 幸彦
評議員 石井 英隆
-2024.8.1付
評議員 藤本 雪絵
評議員 阿部 良一

〈退任〉 -2024.3.31付
評議員 柳原 高志
評議員 岡田 賢三

■ 教職員

〈新任〉 -2024.4.1付
常勤講師 小西 順子
常勤講師 濑古 真由美

〈退職〉 -2024.3.31付
専任教諭 田中 勇貴
専任教諭 劉 貴明
任期制専任教諭 内芝 恵悟
任期制専任教諭 曽我 彩加
-2024.7.31付
常勤講師 南元 菜那

■ 計報

● 小槻 哲
2024.1.8逝去
1974.4.1～1979.3.31
中学・高校 専任教諭

● 佐藤 耕一
2024.2.6逝去
1994.4.1～2000.3.31
大学・短大 専任教諭
2000.4.1～2004.3.31
中学・高校 事務部長

● Evelyn. E. Wroe
2024.3.7逝去
1971.4.1～1980.3.31
短大 専任教諭
1980.4.1～2003.3.31
中学・高校 専任教諭・チャプレン

● 原田 光雄
2024.11.15逝去
1999.4.1～2005.3.31
大学・短大 チャプレン

● 松山 龍二
2024.11.20逝去
1960.4.1～1988.8.31
中学・高校 チャプレン
1988.9.1～1995.8.31
中学・高校 校長

● 大橋 裏
2024.12.2逝去
1989.4.1～2000.3.31
大学・短大 非常勤講師
1999.5.18～2007.3.31 評議員
2003.6.1～2007.8.31 理事

ご在職中の働きを覚え、つつしんで魂の平安をお祈り申し上げます。

～大学および短大所属の表記について～

在職時期に応じて
右記のように記載させて
いただいております

1950.4.1～1996.3.31の方は、短大
1996.4.1～2021.3.31の方は、大学・短大
2018.4.1～2021.3.31の方は、短大

■ ご寄贈感謝

● 高校2023年度卒業生
1,000,000円